

⑩ 日本国特許庁 (J P)

⑪ 特許出願公表

⑫ 公表特許公報 (A)

平5-502746

⑬ 公表 平成5年(1993)5月13日

⑭ Int. Cl.⁹

識別記号

庁内整理番号

審査請求 未請求
予備審査請求 有

部門 (区分) 6 (3)

G 06 K 17/00

C

8623-5L

(全 10 頁)

⑯ 発明の名称 チップカードリーダー

⑰ 特 願 平3-503894

⑱ 出 願 平2(1990)9月21日

⑲ 出 願 平2(1990)9月21日

⑳ 出 願 平4(1992)3月20日

㉑ 国際出願 PCT/EP90/01609

㉒ 国際公開番号 WO91/04548

㉓ 国際公開日 平3(1991)4月4日

優先権主張 ⑳ 1989年9月21日 ㉑ ドイツ (DE) ㉒ P3931508.8

㉔ 発 明 者 ブライアー、ロバート

ドイツ連邦共和国ウンターグルツベンバツハ、タルシュトラフゼ、
25

㉕ 出 願 人 アムフエノルートウヘル、エレ
クトロニクス、ゲゼルシャフ
ト、ミフト、ベシユレンクテ
ル、ハフツング

ドイツ連邦共和国ハイルブロン、アウグストーホイセルーシュトラ
フゼ、10

㉖ 代 理 人 弁理士 渡 邊 勇 外1名

㉗ 指 定 国 AT(広域特許), BE(広域特許), CH(広域特許), DE(広域特許), DK(広域特許), ES(広域特許), FR
(広域特許), GB(広域特許), IT(広域特許), JP, LU(広域特許), NL(広域特許), SE(広域特許), U
S

最終頁に続く

説 明 書 の 要 約

1. 接触支持部 (5) とカード受入れ手段 (4) とを備えたチップカードリーダー (1) において、前記チップカード (2) が前記カード受入れ手段 (4) に挿入される時、前記カード受入れ手段 (4) が前記チップカード (2) と共に前記接触支持部 (5) に設けられた接触要素に向かって移動するように、前記カード受入れ手段 (4) は前記接触支持部 (5) 内に位置移動可能に設置されることを特徴とするチップカードリーダー。
2. 接触支持部 (5) とカード受入れ手段 (4) とを有したチップカードリーダー (1) において、前記チップカードリーダー (1) はプッシュプル動作によって作動することを特徴とするチップカードリーダー。
3. 前記カード受入れ手段と共に前記カードが前記接触要素に向かう傾斜した部分に位置している時に、前記接触支持部において、前記傾斜部分に向かって移動しているカードがその読み取り位置に到達することを特徴とする請求項1又は2記載のチップカードリーダー。
4. 前記カードと直接に係合するとともに読み取り位置において前記カードを保持するカードブレイク (51) が設けられていることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載のチップカードリーダー。
5. 前記カードブレイクは前記接触要素の接触力を減

少又は相違させないようにしており、前記カードブレイクは前記接触要素から離れたカードを押さないようになっていることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載のチップカードリーダー。

6. 前記ブレイクは前記接触支持部に設けられ、ブレイクは可動に設置されており、前記接触要素に対してチップカード (2) が押されることを避けるように、前記ブレイクはチップカード (2) の下方への移動に追従して回転可能に設けられていることを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載のチップカードリーダー。

7. カードブレイクは、カードの面 (55) に平行でかつカードリーダーの中心軸に垂直な軸の周りに回転可能に設置されており、前記カードブレイクはカードのプッシュおよびプル方向に遊びがあるようになっており、前記ブレイクはチップカード (2) の下方への移動に追従して回転可能に設けられていることを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載のチップカードリーダー。

8. 前記カードブレイク (51) の上方及び下方への回転移動の範囲は、カードが常に安全に前記ブレイクに入るように規制部材によって制限されていることを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載のチップカードリーダー。

9. ガイド手段 (7, 8) は前記接触要素に向かって延びている傾斜ガイド部材 (図部25) を備えた水平ガイド部材 (図部24) からなることを特徴とする請求

請求項1乃至8のいずれか1項に記載のタップカードリーダー。

10. 前記接触部(25)は水平部(24)に対して角度20°だけ広がっていることを特徴とする請求項1乃至9のいずれか1項に記載のタップカードリーダー。

11. 接触支持部(5)はガイド溝(7)を備え、カード受入れ手段(4)はガイドピン(8)を備え、これらガイド溝とガイドピンはスナップ動作によって互いに嵌合されるようになっていることを特徴とする請求項1乃至10のいずれか1項に記載のタップカードリーダー。

12. 前記カードが読み取り位置に到達した時、読取位置スイッチがこの情報を検出するように作動され、読取位置スイッチがカードの下方への動きによって作動され、カードの長手方向の動きによっては作動されないことを特徴とする請求項1乃至11のいずれか1項に記載のタップカードリーダー。

13. 読取位置スイッチは、読み取り接触部と同様な方法で設置されている二つの類似したスイッチ接触部(20、21)からなることを特徴とする請求項1乃至12のいずれか1項に記載のタップカードリーダー。

14. 前記スイッチ接触部は挿入の方向又はカードの取り外しの方向には動作しないが、カード上に作用するブレーキ動作をする方向に動作することを特徴とする請求項1乃至13のいずれか1項に記載のタップカードリーダー。

ブカードリーダー。

る請求項1乃至13のいずれか1項に記載のタップカードリーダー。

15. スイッチ接触部及び読み取り接触部は付着された状態で前記接触支持部(5)内にそれぞれ配置されていることを特徴とする請求項1乃至14のいずれか1項に記載のタップカードリーダー。

16. 接触要素は図面例(117)から接触支持部(5)に挿入され、爪またはロック手段によって、前記接触支持部内に位置され、挿入およびロック又はロック動作の際、接触部の付着がなされていることを特徴とする請求項1乃至15のいずれか1項に記載のタップカードリーダー。

17. リターンズスプリング(12)は、その通常位置において、強く屈曲可能である屈曲ワイヤからなることを特徴とする請求項1乃至16のいずれか1項に記載のタップカードリーダー。

18. カードブレーキは前記接触支持部に固着可能に設置されており、このカードブレーキは遊びが許容されており、好ましくはメタルクランプからなるカードブレーキが適当な挿入角度を確保するようにカードの下方への動きの間にそれ自身をカードと整合させ、タップカードは、カードブレーキがスイッチ接触部又は読み取り接触部又はスイッチ動作に影響を与えないようにカードブレーキの屈曲領域に到達することを特徴とする請求項1乃至17のいずれか1項に記載のタップカードリーダー。

明 細 書 タップカードリーダー

技術分野

本発明は、タップカードリーダーに係り、タップカードがいわゆる「プッシュプル(push-pull)」動作によって長手方向に挿入され又は取り出し得るタップカードリーダーに関する。

背景技術

タップカードリーダー内にある接触要素は、動作中、これら接触要素がタップカードの接触領域にのみ位置されるように接触スプリングとして形成されており、それ故、接触要素はタップカードが形成されているプラスチック材料上を移動しない。

ドイツ公開公報(BE-OS)第3,531,318号はタップカードリーダーを開示しており、このタップカードリーダーにおいては、タップカードリーダーのハウジング内に固定して配置されている接触要素に対してタップカードが移動するようになっている。しかしながら、前記公開のタップカードリーダーは、プッシュプル原理に基づいて動作しない。事実、カードが挿入される時ロック作用をなすロック手段が使用されている。ロック手段は、カードを取り出そうとする場合には操作されなければならない。

しかしながら、本発明はプッシュプルタイプのタップカードリーダに適用し、さらに上述の先行技術に類似しているタップカードリーダのいわゆる接触支持部のハウジング内に固定して配置されている接触要素を使用しているタップカードリーダに関する。

接触要素、いわゆる、読み取り接触要素はタップカードの通常の接触領域内で移動し、接触領域を囲むカードのプラスチック材料上ではない領域で移動し、又、接地された面状の領域上でない領域で移動することを確保するために、カードをタップカードリーダに押し込む時に読み取り接触要素に向かうタップカードの下方向への移動が行われる。同時に反対の動作のために、カードがタップカードリーダから引き出される時、プラスチック材料の表面と接触しない。タップカード上の接触領域の接触動作はタップカード内に含まれる情報を読み取るために必要である。

発明の開示

より詳述すると、本発明は接触支持部を提供し、この接触支持部内に読み取り接触部及びスイッチ接触部が固定的に装着される。しかしながら、前記接触要素はハンダ付け接触部である必要はない。本発明によれば、前記接触支持部には、タップカードを受け入れるようになっているカード受入れ手段が設けられている。前記カード受入れ手段は、タップカードの挿入方向に往復移動可能に装着されている。好ましくは、カード

受入れ手段は、接触支持部内に長手方向に移動可能に装着されているばかりでなく、垂直移動可能に装着されている。カード受入れ手段はカードを受入れ及びガイドするためのガイド溝（スロット）を形成する部材を備えている。

カード受入れ手段はリターンスプリングによって受入れ及び排出位置に維持されている。前記受入れ及び排出位置において、カード受入れ手段はタップカードが挿入される時にその読み取り位置に移動される。この挿入工程の間、カード受入れ手段は、カードと共に移動され、読み取り接触部が接触領域と係合するようになる。接触支持部に対して例えば120°の角度だけ移動し、カードが最終接触部に到達するに移動する。本発明によれば、カードブレードが接触支持部に一体化されている。前記カードブレードは、リターンスプリングによって戻される力に抗して、読み取り位置において、カード受入れ手段と共にタップカードを保持するようになっている。本発明の好ましい実施例によれば、カードブレードは、ブレードがタップカードの下方向への動きに追従するように、カード支持手段に回転可能に装着されているメタルクランプである。カードが引き出される時、引き出し力はメタルクランプによって形成される保持力に優らなければならない。カード受入れ手段は、リターンスプリングの存在によってタップカードの動きに追従し、これ以下方向への動

きを提供するカムによってガイドされて受け入れ及び排出位置に保持する。

本発明の他の実施例によれば、接触要素によって形成された一連の接触部は、読み取り接触部からなるばかりでなく、少なくとも二つのスイッチ接触部からなっている。スイッチ接触部は接触支持部と共に形成された弾性的なスイッチアームによって駆動される。弾性的なスイッチアームは、読み取り接触部が後に閉じた後、タップカード自身によって開閉される。

本発明の他の実施例によれば、読み取り接触部及びスイッチ接触部は偏倚（バイアス）されている。接触スプリング用のバイアスは小さな利用であるスプリングの動き又はパスのために必要な接触力が引き出される効果を生じている。平坦なスプリング特性によって、カードの厚さの差が接触要素の力に影響を与えない。

図面の簡単な説明

図1はタップカードリーダの概略を示す斜視図である。

図2はやや斜視した上方位置からタップカードリーダの二つの主要部品（接触支持部及びカード受け入れ部）を見た図である。

図3は図2において前方向に位置する接触支持部の側面を示す図である。

図4は図3において示されているカード受入れ手段

を有した接触支持部の平面図である。

図5はその挿入及び排出位置においてタップカードリーダの概略断面図である。

図6は下方への移動を開始し読み取り位置の方向に移動するカード受入れ手段を示す図5に類似した図である。

図7はカード受け入れ手段が読み取り位置に接近し、まさに読み取り接触部によって接触される寸前のタップカードの接触領域を示す図5に類似した図である。

図8はタップカード受入れ手段がその端部又は読み取り位置に位置しており、接触領域が読み取り接触部と係合し、更に二つのスイッチ接触部が閉じている状態を示す図5に類似した図である。

図9は読み取り接触部の挿入及び読み取り接触部の形状を示す読み取り接触部の領域において接触支持部の長手方向に平行な断面図である。

図10はカードブレードのための保持手段の領域における図4の詳細を示す図である。

図11はカードブレードを形成するメタルクランプの平面図である。

図12は図11のメタルクランプの断面図である。

図13はスイッチ接触部のためのスイッチアームの領域において下から見た接触支持部の概略部分図である。

図14は挿入されていないスイッチ接触部を示す図

13の14-14線に沿った断面図である。

図16はスイッチカムを形成するスイッチアームの自由端の拡大図である。

発明を実施するための最良の形態

以下、本発明に係るチップカードリーダの実施例を図面を参照して説明する。図1はチップカードリーダ1を示すものであり、このチップカードリーダ1内にチップカード2内に含まれるデータを読み取ることができるよう又は所記データを記憶したり通知したりすることができるようチップカード2が挿入される。チップカードリーダ1は、通常、装置3、例えば電話装置とともに使用されている。この目的のために、チップカードリーダ1は、しばしば、所記装置3又は所記装置3の部品内に組み込まれる。チップカードリーダ1内にある接触要素（以下、接触部と称す）はチップカード2の接触領域と接触するためのものであり、この接触部は装置3の各部品にケーブルによって接続されている。好ましくは、本発明は、固定的に設けられた接触要素を有したチップカードリーダに関する。所記接触要素は、好ましくは、装置3内のプリント基板高板に導子によってハンダ付けされている。

図2及び図3は本発明のチップカードリーダの一般的な構造を示すものであり、このチップカードリーダは、二つの主要部品、即ち、カード受入れ手段4と接

触要素支持部（接触支持部）5とを備えている。接触受入れ手段4は図4に示されるように、支持及びガイド手段によって接触支持部5の最手前55にそって導き又はガイドされている。ガイド手段は、接触支持部において溝の形状をしたガイド手段7とカード受入れ手段内のピン9の形状をしたガイド手段8とによって形成されている。接触支持部5（同時にカード受入れ手段4）は、プラスチック材料からなるために（図2参照）、下部ピン8が各溝7内に挿入された後、上部ピン8が各溝7内にスタック動作で入る。

接触支持部5内に接触要素が挿入され、接触要素は好ましくは接触スプリングの形状をしており、接触スプリングを受け入れるようになっている受入れ溝は参照符号10によって示される。カード受入れ手段の位置移動は、カード受入れ/取出位置15（又は停止位置とも称す）と、読み取り位置17との間に生ずる。停止位置15及び読み取り位置17は、図3においてピン8の位置によって概略的に示され、停止位置は図5において示され、読み取り位置は図8において示される。スプリング12は、カード2が挿入されていない場合には、カード受入れ手段4を停止位置15に付勢するようになっている。接触スプリングを受け入れるようになっている溝10内には読み取り接触スプリング（読み取り接触部）19及びスイッチ接触スプリング（スイッチ接触部）20、21が位置している（図

4で詳細に示す）。図4に示す実施例においては、16個の読み取り接触部19と、二つのスイッチ接触部、即ち、第1スイッチ接触部20および第2スイッチ接触部21が設けられている。

接触支持部は底壁29によって形成され、この底壁29から第1側壁26、第2側壁27及び背板壁28、接触壁26、27が上方に延びている。背板壁28は接触受入れ手段4の接触面31のための接触面30を形成する。更に、背板壁28には、カードブレード51を保持するためのピン14の形状をした保持手段が設けられている。

接触支持手段にあるガイド手段7は、図3に示されるように、水平溝部24と、この水平溝部24に開設した傾斜溝部25とを備えている。図3は、ピン8がまだ傾斜溝部25の領域にある間に、読み取り位置17に到達することを示している。

図2は更にアングルアームが側壁26及び27に対して直向に突出していることを示している。アームは、それぞれ接触面42及び42を形成しており、カード受入れ手段4が停止位置にある時、スプリング12の付勢力によって、前記接触面42及び43がカード受入れ手段4の各接触面40、41と当接する。

接触支持部5を説明する前に、図2を参照してカード受入れ手段4がカバー壁37、第1側壁32、第2側壁33及び背板壁34によって形成されていること

を説明しておく。カード2の側壁部45、46用のガイド溝35、36を形成するように、カード2を受け入れるための溝を形成する短いウエブがカバー壁37と平行に内側に突出している。

背板壁34はカード2の全面又は接触面44のための接触面38を形成する。カバー壁37にある切欠部50はブレードスプリング51からなるカードブレード用のスペースを提供する。

図4を参照して、接触支持部5の説明をする。接触支持部5はピン14によってブレードスプリング51からなるカードブレードを支持している。接触手段52は、接触支持部5を部品、例えば、装置3のプリント基板高板に装着するために使用される。底壁29には、凹部（溝）状の第1溝70が第1側壁26に開設して設けられている。第2側壁27に開設して、第2溝77が設けられている。底部71は第1溝70に開設し、ウエブ72内に通達しており、このウエブ72内にV形状の凹部73（平面図に参照している）が形成されている。それと対称的に、第2溝77はV形状の凹部80を有したウエブ79に通達している底部78によって制限されている。面85は溝70の底部より高い位置にあるが、面85に対してより低い位置に、凹部82が設けられており、この凹部82は接触受入れ面86より低い位置にある別の凹部83とはほぼ同一レベル上に位置している。接触受入れ面86は

図8-5より高い位置にある。接触受入れ面8-8は二つの対称的に位置する溝8-8によってスプリング12を挿入することができる突起の形状をしたスプリング支持部を形成している。カード受入れ手段がその読み取り位置にある時、スプリング12は図4に示される位置から左方に移動する。前記移動はウエブ上で起こり、カード受入れ手段4が読み取り位置に到達する時、スプリング12は図部7-3、8-0に到達する。その休止位置において、スプリング12はほぼ垂直に直立したスプリングワイヤからなっている。図5乃至図8及び図10乃至図12において、ブレードスプリングからなる本発明のカードブレード51は特にメタルクランプの形状で示されている。図11はブレードスプリング52の平面図であり、図12はメタルクランプによって形成されるブレードスプリング51が第1脚56、第2脚57及び前記二つの脚を接続する接触部58からなることを示している。脚56及び57及び接触部58によって形成された開口は、図5乃至図8に示されるようにスプリング51がピン14上に設置されるように形成されており、スプリング51がピン14の周りに屈曲されるようになっている。スプリングは、何等の遊びもなく、用られた範囲で屈曲可能に装着されている。ブレードスプリング51は、図12に示されるように、その休止位置において、二つの脚56、57が互いに押し合うようになっているが、

いる。平坦なスプリング特性によって、カード2の厚み誤差は接触力に影響を与えない。図9の右側下部において、本発明の読み取り接触部19は装着される前の形状が示されている。この装着されていない位置では符号19-1によって示され、次の工程（ステップ）では符号19-2によって示され、更に次の工程では符号19-3によって示され、装着位置では符号19-4によって示される。

各読み取り接触部19は自由端に接触部111を有した先端部110を備えている。先端部110に隣接して第1直線部112及び第2直線部113が配置されており、この第2直線部113は角度90°折曲した後、外縁部114に連続している。二つの直線部112、113は180°よりやや小さい角度を形成し、その結果として、前記接触部19が図9に示されるように設置される時、二つの直線部112、113は、接触部19に付勢力が生ずるように一直線上に位置される。第1直線部112が第2直線部113に接触する位置に、接触要素19を形成する際に増付するウエブ101が接触要素19に一体に設けられる。一つのウエブ101は図の面から上方に延び、他のウエブは図の面から下方に延びている。前記ウエブ101は前記接触要素19を接触支持部5にロックするように機能する。

接触支持部5に読み取り接触部19を装着し、かつ

第1口部60と第2口部61からなる口部59を形成している。口部59は、スプリング51の休止位置において、チップカード2が挿入される時、チップカードをつかむための剛性領域を提供するように固くようになっている。

ブレードスプリング51の配置に関して、接触支持部5において、図10に示されるように背後壁28に隣接する底壁部29内に、図部6-4が設けられている。前記図部6-4は図10に示されるようにウエブ6-5によって境をなしている。前記ウエブ6-5の上部を側面には、図部6-6が図部6-4と同レベル上に設置されている。一方、図部6-6に隣接してブレードスプリング51が挿入される領域において、穴6-7が設けられており、この穴6-7がスプリング51の第2口部61用の空間を提供する。

通常、ブレード51は上方からピン14上に装着され、背後壁28の図部7-4内に接触部58が露出する。所定範囲の図部が可能であるが、長手軸55に垂直な方向又は長手軸55の方向に何等の動きが生じないようになっている。

図5乃至図8及び図9は読み取り接触部19及びスイッチ接触部20、21の構造を示している。図9は、左側に、読み取り接触部19を示している。装着された読み取り接触部19は必要な接触力が読み取り接触部とカードの接触領域間に加わるように偏斜されて

ロック（爪牙段による）であるように、接触スプリングを受入れるようになっている溝10が形成されている。即ち、各受入れ溝10は挿入用のチャンバ102を形成する。前記挿入チャンバ102は読み取り接触部19の端にほぼ対応する長手軸に直交する幅を有している。両側に突出しているウエブ101を挿入できるように溝延長部103が設けられている。読み取り接触部19の位置19-2は、読み取り接触部19が接触ウエブ104およびチャンバ底壁部108と係合しチャンバ102内に挿入された直後の状態を示している。その後に、読み取り接触部19は符号19-3で示される位置に右方向に移動し、その動作の間に、前記読み取り接触部は、図9の左側に示されるように、図部によって形成されたロック用の面に係合するように斜面105上を上方にスライドする。前記移動の際に、直線部113の右端は傾斜面107を経て、接触部が符号19-4によって示される位置に付勢されるように傾斜面108上に移動する。

図5乃至図8および図13乃至図15を参照して本発明の端部位置スイッチ120を説明する。端部位置スイッチ120は、図示の実施例においては、第1スイッチ接触部20と、第2スイッチ接触部21及びスイッチアーム121から形成されているスイッチ作動部材とからなっている。

スイッチが閉じる時、端部位置スイッチ120は、

カード受入れ手段4が読み取り位置、すなわち、読取位置にあり、その読取位置内でカード受入れ手段4がカードブレード51によって保持されているという事実についての情報を提供する。これは図示されていないが、読取位置に関する情報は通常閉じているスイッチ接触部を開取することによって供給される。

スイッチ接触部20及び21は、図5乃至図8において最良に示される。前記2つのスイッチ接触部は同一の構造を有しており、それらは先端部110は存在しないが、先端部112が先端部の領域で設けられているという以外はスイッチ接触部19に類似した構造になっている。接触支持部の断面例117から示された方向のその設置位置にある時、全てのスイッチ接触部20、21は付勢されている。

中心部に対して垂直に延びる部128の両側に、押入チャンバ129及び130が接触支持部5の断面例117に設けられている(図13参照)。押入チャンバ129は読み取り接触部用の押入チャンバ102に類似している。押入チャンバ130は図5乃至図8及び図14に詳細に示されている。押入チャンバ130はスイッチ接触部のウェブの通設用の溝の広がり部108を備えている。更に、溝の底面にチャンバ129内に設けられるスイッチ接触部20の自由端を支持する凹部138が形成されている。支持面135は、接触した昇部131を有した凹部138によって形成さ

れた支持面より幾分高い位置に位置しており、前記昇部131はやがて接触面を介してチャンバ底面135と交わっている。ロック用の凹部135はスイッチ接触部21の二つのウェブを受入れるようになっている。スイッチ接触部21は図5に示される読取位置で付勢された状態で配置されている。図5乃至図7において、スイッチ接触部20は、接触部20がスイッチアーム121に形成されたスイッチカム122によって図8に示される閉位置に移動可能なようにスイッチ接触部21の自由端に対してその自由端を上方に位置した状態にある。

スイッチアーム121及び読取位置スイッチ120は以下に詳細に説明する。スイッチアーム121は単一の部材からなり、接触支持部5とともに射出成形によって形成されている。そして、スイッチアーム121は比較的長いレバーアーム123を備え、自由端にスイッチカム122が形成されている。スイッチアーム121の配置及び構造は図4、図5乃至図8、図13及び図15で示されている。スイッチカム122はカード作動面125及び接触係合面126を形成している。カム122は開放になっている。

次に、本発明のチップカードリーダーの動作を説明する。チップカードリーダーが使用されていない時またはその休止位置にある時には、カード受入れ手段4は、図4及び図5に示されるようにスプリング12によ

って接触面42及び43に対して押されている。スプリング12は、図4に示される位置において、前記カード受入れ手段4に形成された移送部材40を介してカード受入れ手段4にその力を伝える。前記移送部材40はスプリング12の自由端を受け入れるようになっている溝の形状をしている。チップカード2が右からカード受入れ手段4に形成された溝形状のガイド部35及び36に押入される場合、図2に示されるように、前記カード2は、カード受入れ手段4の接触部44と接触係合するまでガイド部にそって移動する。カード2に対して押入する力を連続的に加えると、図5乃至図8に示されるように、カード2はカード受入れ手段4と共に下方に移動する。図4及び図5に示されるように、ブレードスプリング51は、カード2が前記カード受入れ手段4の接触部38と接触係合する時にブレードスプリング51の弾性領域に到達するように配置されている。連続したカードの移動の間に、前記部55、57がカード2をクランプ又は保持するようにカード2がスプリング51の二つの脚の間を通過する。したがって、前記クランプ力よりも連続したカードの押入の動きの方が速い。カード2が図8に示される位置に到達した後、カード2はカードの案内をするカード受入れ手段4とともに前記スプリング51によってのみ読み取り位置に保持される。前記カード受入れ手段4は、スプリング12の力が作用する状態にあり、

スプリング51の力によって、カード及びカード受入れ手段4は読み取り位置から移動できない。

図5乃至図8に示されるように、カード2と共にカード受入れ手段4の下方への移動は前記ガイド手段7、8によって行われ、特に下方へのカム曲線又はカム星形を形成する傾斜した部24によって行われる。本発明によれば、図8に示される読み取り位置が傾斜した部25の領域に到達し、即ち、傾斜した部25は水平面部としてカード2の押入方向には延びていない。図5乃至図7に示されるように、カード2及びカード受入れ手段4の下方への動きの間に、接触領域90の初期領域がカード接触部19の接触先端部111と係合するようになり、読取位置スイッチ120が閉じる。図8に示す最終的な接触係合は前記接触領域90の領域内で生ずる。図5乃至図8において、ブレードスプリング51は上方へやや回正し、それから図6の位置を経て図8に示される閉鎖位置にゆっくりと戻る。

読取位置スイッチの動作に関して、図5乃至図8、図14及び図15に示されるように、カード2がカード作動面(傾斜部)25に対して移動し、二つのスイッチ接触部20及び21が互いに接触するようにスイッチカム122を押す。

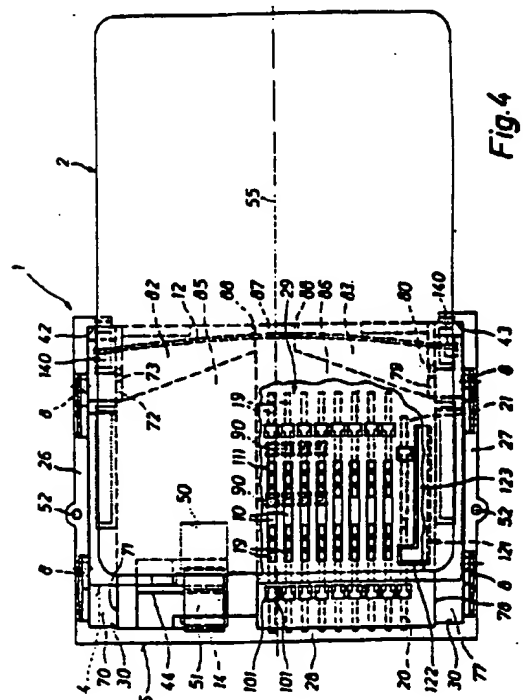
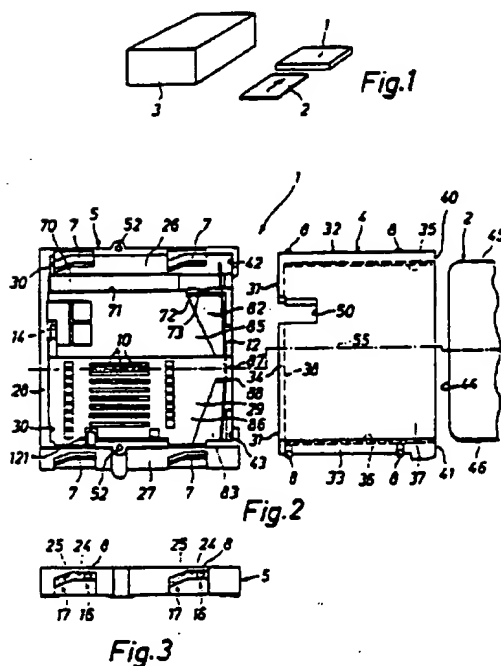
本発明のチップカードリーダー1は、いわゆるプッシュプル原理によって動作する。図8はプッシュ動作を終了した後、カードがカードの読み取り位置にある状態

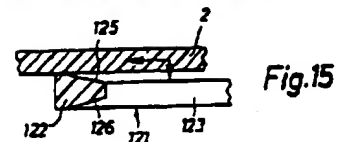
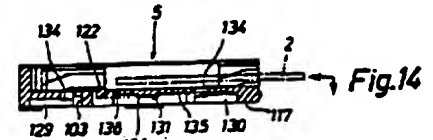
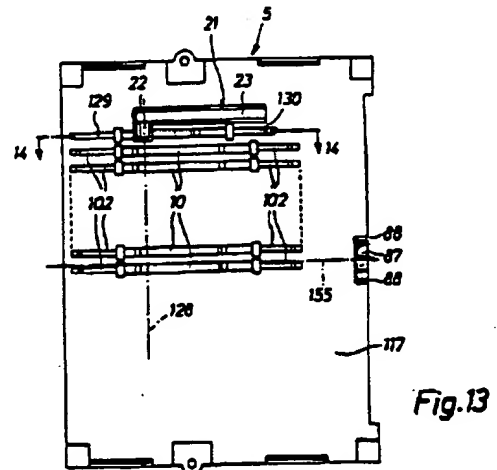
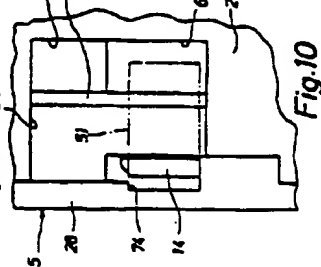
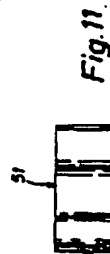
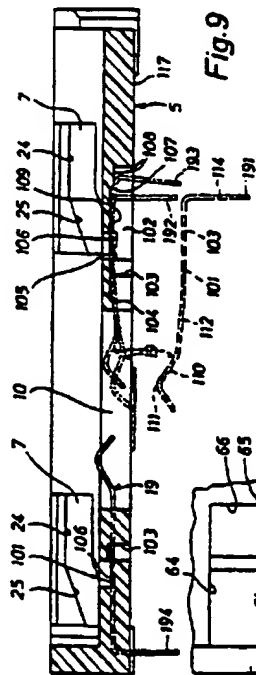
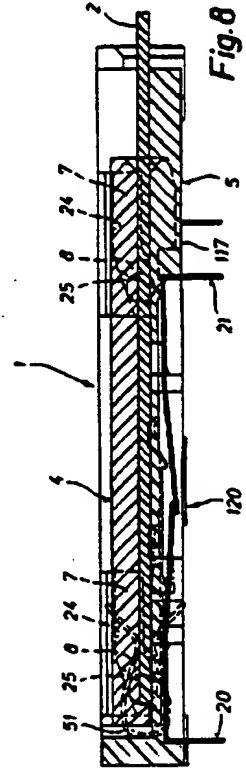
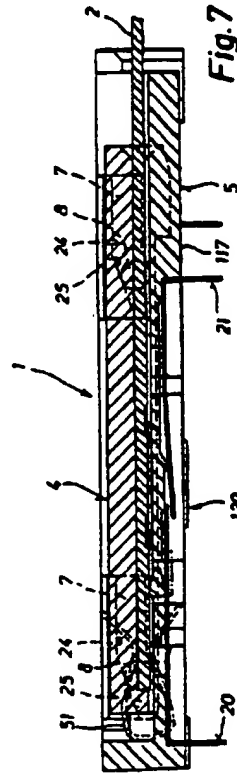
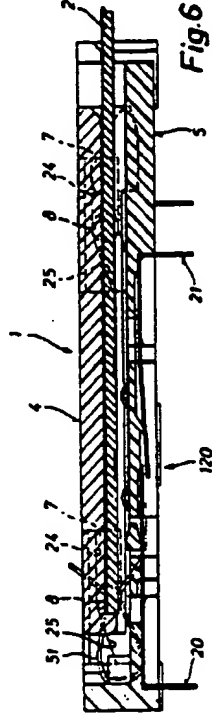
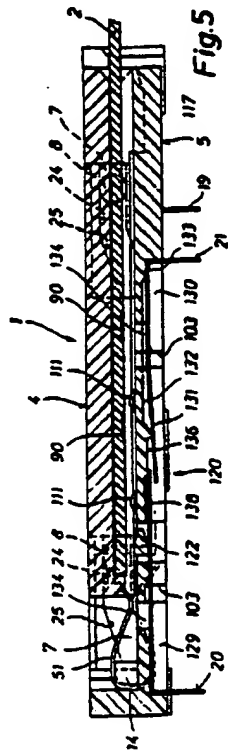
を示している。図8の同記読み取り位置から、カードはプル動作によって取り出される。操作者は、右方向に突出しているカードの端部を引く、それによってプレーキスプリング51のプレーキ力に負ける引き出し力によってカードを引き出す。カードに通脱した引き力に加えている間に、同記カードは、やがて二つの側面のクランプ力から開放され、カード受入れ手段4と共にその休止位置16に戻り（スプリング12の作用による）、そこでカード2は同記カード受入れ手段4から容易に取り外し可能になる。

要約すると、本発明は複数の接触要素を有した接触装置を備えたチップカードリーダーを提供する。一連の接触要素は好ましくは記録基板上に機械的及び電気的に接続されている。接触要素は接触支持部5によって支持されており、この接触支持部5内にカード受入れ手段4が長手方向及び上下方向に可動に設置されている。同記カード受入れ手段4はチップカード2を受入れ、そして、これをガイドする部材を備え、同記部材はカード脚を形成している。好ましくは四つのピンが接触支持部5の脚、好ましくは、傾斜溝内をカード受入れ手段4をガイドするために設けられている。同記チップカード2がカード受入れ手段4内に挿入される時、同記カード受入れ手段4はチップカード2とともに移動し、同記接触支持部5に対して約20°以下の範囲で移動する。同記読み取り接触部19はカード2

の接触領域によって形成された接触領域90と接触し、読取接触部が接触領域の各接触領域90内に到達するまで移動する。一連の接触要素は、同記読み取り接触部19に加えて二つのスイッチ接触部20、21を含んでおり、これら二つのスイッチ接触部20、21は読取位置スイッチを形成している。同記スイッチ接触部の一つは同記接触支持部5と一体に形成された弾性スイッチアームによって作動される。スイッチアーム121の端部は読み取り接触部19が閉じた時、同記カード2によって生ずる。接触支持部5に一体化されたプレーキは、リターンズスプリング12によって生ずる力に抗して、読み取り位置において、同記カード受入れ手段4とともにカード2を保持する。

カードの挿入による読み取り接触部に対するカードの下方への移動は同記カード受入れ手段によって行われ、このカード受入れ手段は同記接触支持部に可動に設置される。カード受入れ手段4用の同記リターンズスプリングは、好ましくは、接触支持部とカード受入れ手段間に延びる直線状のスプリングワイヤ12からなっている。本発明のカードプレーキは、スイッチ接触部又は読み取り接触部及びスイッチ動作にそれぞれ影響を与えない。





國際商業會議

International Application No. PCT/EP90/01609

[illegible]

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

Documente de Referință: FCT/EP98/01609

U.S. GOVERNMENT PRINTING OFFICE: 1964 O 344-000		
OFFICE OF THE SECRETARY OF DEFENSE, WASHINGTON, D.C.		
Page No.	Page Title	Page No.
P. 1	SP. A. 351103 (TECHNOSPHERE LTD.) 17 January 1990; see volume 2, line 22- column 7, line 42; Figures 1-4b	1-4.5-11. 16

五、五、五、五、五

PST/EP 90/01609

34 40311

This study lists the present family members residing in the present dwelling unit in the above-indicated (highlighted) search report. The numbers are as contained in the European Patent Office (EPO) file on the European Patent Office of the above patent. These numbers which are usually given for the purpose of information.

75/02/91

Person identifier listed in source report	Publication date	Person identity number(s)	Publication date
CP-A-537520	20-09-83	FR-A, B 2628901	22-09-89
EP-A-108737	05-07-86	DE-A- 3445183 JP-A- 61132095 US-A- 4743744	12-08-84 27-06-86 10-05-88
EP-A-214478	16-03-87	DE-A- 2511318 JP-A- 62133787 US-A- 4795234	05-03-87 14-05-87 21-08-88
FR-A-2607807	27-05-83	None	
EP-A-251103	17-01-90	GB-A- 2220777	13-01-90

第1頁の続き
の発 明 者

ヒュブナー、ハンス、ギェンタ
ー

ドイツ連邦共和国ハイルブロン、マックス・フォン・ローエーシュ
トラッセ、74